

SOA NEWS

VOL-9 No. 8
1989. 8. 1
(通巻 第87号)
定期購読料 700/円

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内 TEL/FAX 048-824-2711

第一回インターナショナル チャレンジサイクリング概要

チャレンジサイクリングも残すところあと2ヶ月半、いよいよエンジンがかかってきました。今回は概要をお知らせしますが、詳細は要項をご覧ください。

- 期 日** 平成元年10月21日(土)～22日(日)
- 主 催** 埼玉県、秩父リゾート地域整備推進協議会、(財)日本サイクリング協会
- 主 管** 埼玉県サイクリング協会
- 協 力** 埼玉県軽自動車・自転車商協同組合、秩父観光協議会、(株)秩父開発機構、埼玉新聞社、NHK
- 後 援** 埼玉県教育委員会、埼玉県レクリエーション協会
- 会 場** 秩父ミューズパーク
- コ ー ス** Aコース:100km(健脚向=丸山林道、奥武蔵グリーンライン、長瀬、両神山麓、大滝)
Bコース:50km(一般向=西秩父、両神山麓、大滝)
- 走行方法** 1) 競争ではなくあくまでも自己へのチャレンジです。交通法規を守り、役員の指示に従って秩序よく走行して下さい。
2) いっせいスタートではなく、タイムスタートです。
3) Aコースはハードなので走行管理上規定時間を設定します。
- 車 種** 車両法で定められた保安部品(ランプ・ベル・リフレクター)を装備したトラックレサー以外の自転車。
- 参加資格** 性別を問わず16歳以上で、自己の責任でサイクリングのできる者。
- 参加定員** 500名(Aコース:300名 Bコース:200名)
- 参加料** 会員 4,000円(記念品、保険料、昼食・飲物、その他)
一般 5,000円(記念品、保険料、昼食・飲物、その他)
- 申込方法** 所定の申し込み用紙に必要事項を記入し、現金書留か郵便振替で大会事務局まで申し込んで下さい。
口座番号=東京7-56228 加入者名=埼玉県サイクリング協会
- 申込締切** 9月21日(木) (定員になり次第締め切ります)
- 日 程** 10/21 15:00～16:00 受付,15:30～16:30 車検,19:00～21:00 開会式
,交歓・交流会
10/22 7:00 集合,8:00 スタート,15:00 最終ゴール,16:00 閉会式

大会事務局 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館
埼玉県サイクリング協会内
インターナショナルチャレンジサイクリング実行委員会
TEL/FAX 048-824-2711

免責事項 大会参加中の一切の事故については、参加者の責任とします。

- その他**
- 1) 大会中の事故に於いての賠償は参加者全員について主催者で加入する保険の範囲内とし、被保険者が直接保険会社に請求するものとしします。
 - 2) 一旦納入された参加費はお返しできません。
 - 3) その他不明な点は大会事務局までお問い合わせ下さい。

インターナショナルチャレンジサイクリングつれづれ日記(その1)

4/23 SCA総会において事業承認を受け、さっそく埼玉県の協力を要請する。企画財政部地域整備推進課(企財部推進課)との打ち合せを5/9、18行い、5/29 県関係諸団体にも協力要請をおこなう。席上林務課が八丁峠林道の使用については難色を示した。

6/25 秩父リゾート地域整備推進協議会(推進協)総会の席上、本事業の説明を行う。この席においても志賀坂、八丁峠、中津川(八丁コース)について農林振興センター、秩父土木事務所等から変更してほしいとの意見がでた。渡邊理事長は八丁コースは秩父を代表するすばらしいコースでありサイクリストに喜んでもらえるのでぜひ協力をお願いしたい旨を強調した。

6/9 埼玉新聞の取材があり、概要を発表する。6/11 さっそく埼玉県警から問い合わせがあり、ロードレースではないこと再度説明する。6/15 県警交通部長に星野副会長と協力要請に伺う、部長個人としては定峰コースより

八丁コースの方がベターであるとの意見であった。6/16 埼玉県・推進協・秩父開発機構との打ち合せがおこなわれ、八丁コースで開催することを申し合わせた。6/17 浜田会長に会い事業の進捗状況報告、八丁峠林道の使用についてプッシュをお願いする。6/20 県警交通規制課で大会概要の説明を行う。警察としても協力するが、コースについては地元警察との合同会議にて決定するようにとの回答をもらう。6/21 県林務課から八丁峠林道の使用はOKとの連絡をもらう。これで一步前進とはりきていたことが、後でとんでもない結果になってしまった。6/27 小鹿野警察署長から八丁峠林道の使用は避けて欲しいとの電話がはいる。7/1 八丁峠林道を含むコース調査を推進協と合同でおこなう。7/7 秩父にて県警・秩父・小鹿野・寄居・小川各署との合同会議がおこなわれ、警察としては八丁コースより定峰コースでの開催を要望するとの意見がだされた。協会としても警察の反対を押し切って大会開催しても利にならないと判断し、定峰コースに変更することです承した。

< 関係諸団体 >

◎ヤングスクエアさいたま'89

前回お知らせしましたヤングスクエアさいたま'89の募集内容が決定しましたのでお知らせします。

日時 11月5日(日)9時~3時

会場 大宮駅周辺

募集内容は次の3テーマで行われますので、日頃の活動の成果を発表してみたいかがでしょうか。

1. 静の展示室(大宮駅コンコース)
国際交流を基本として詩・俳句・習字・作文・写真などを募集します。

2. ぼくはつ広場(JACK大宮)
若者の夢や叫びを講演や音楽によって主張したい人を求めています。

3. アーティスト広場(鐘塚公園)
若い芸術・芸能家の活動を披露することを目的として、落語・パントマイム・コント・民俗音楽などを募集しています。

問い合わせ先 参加を希望される方は下記へご連絡下さい。

ヤングスクエア'89実行委員会事務局
埼玉県民部青少年課(育成指導係)
TEL.048-824-2111(代)内線 2587

◎「学ぶ青年集会」について

全国の青年が赤城に集い、21世紀を展望しながら生涯学習社会に生きる青年のあり方を探る集会が開催されます。

期日 平成元年9月14日~16日

会場 国立赤城青年の家

参加対象 青年学級・青年教室の参加者、青年国内・国外研修参加者
各種青年団体・サークル等の青年他
その他 詳細は協会事務局まで問い合わせ下さい。

< 雑学アラカルト >

* 茶のはなし <1> *

昔から休憩時の合言葉は、「お茶にしよう」と言われておりますが、このお茶、緑茶、紅茶、烏龍茶等の種類があり、皆同じ茶の木よりできております。

一口に違いを述べますと、

緑茶：茶の葉を蒸気加熱し、未醗酵のまま乾燥させたもの。

紅茶：高温、常温で完全醗酵させ乾燥させたもの。

烏龍茶：直射日光で水分を蒸発させ半醗酵させるもので、紅茶と緑茶の仲間。

の様な違いがあります。

お茶の原産地は中国と言われており、紀元前2千年頃に医薬として飲まれていました。

栽培してお茶としたのは、四世紀半頃やはり中国で始まっています。

日本では八世紀半頃中国より、お茶と種子が伝来し、千二百年頃より栽培が始まったとされています。

この時、烏龍茶ではなく緑茶が伝わったといわれています。

緑茶は、日本では蒸気で加熱していますが、中国では直火で釜炒りによって製茶されています。

玉露、煎茶、焙茶・・・と各種ありますが、葉の摘み方、葉の状態、蒸した後の工程等が異なったものですが、五月に作られる一番茶が良く、なかでも柔らかい芽の一心二葉の手摘みが最上であります。つづく

UCC 水野久夫

<インフォメーション>

◆訃報

常任理事矢作知久氏の御母堂様が7月6日永眠されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◇7月29～30日に開催された第33回全国サイクリングラリーに参加された10名の方々お疲れさまでした。全回出席されている星野清氏には次回紙面にコメントを頂きたいと思っています。

◇クラブオープン行事

○南郷・浦和チャレンジサイクリング

9月23～24日、南郷→浦和(230km)

浦和CC:渡邊まで ☎048-833-0156

○川口市民選手権

9月下旬

川口CC:川村まで ☎0482-81-1656

◇行事予定

8月6日 SCAラリー:高麗川

*8月19～20日 SCAクラブラリー:県東

〃 東北ラリー:福島

*8月26～27日 全九州サイクリング大会

*9月9～10日 中部日本ラリー:愛知

9月15～16日 関東甲信越ラリー:長野

9月30～10月1日 宇都宮サイクリングフェスタ

10月8～10日 ツール・ド・のと400

*印 は申し込み締切迫る

詳細は協会まで問い合わせ下さい。



《事務局だより》

□事務局要員

7/30原田 8/27川村 9/24中屋

暑い期間ですが宜しくお願いします。

□事務局夏期休み

8月9日(水)～18日(金)

□センチュリーランアンケートを

御寄せ頂き有難うございました。

今後の参考にさせていただきます。

≦ 編集後記 ≧

□会員の皆様のご意見、エピソードなどお待ちしております。不慣れな事務局により日頃大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。やっと笑顔で対応が出来るようになりました。皆様が気軽に立ち寄って話しあえる場にして行きたいと思っています。(Y)

□ツール・ド・フランスはレモンの逆転劇で幕をとじた。日本でこの種の大レースができるのはいつのことだろうか。まだまだメジャーにはなりにくい要因が山積していることを今回のインターナショナルチャレンジサイクリングの企画を通して思い知らされた。

□昨年、8月8日をサイクリングの日にしようと提案したが、なんの反応もなかった。頑張ってニュースを作って呼びかけても反応のないほどむなしいことはない。ニュースを担当して7年3ヶ月が経過し、マンネリ化してきたのでこの辺で活性化が必要だ。(K)